北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	社会文化ゼミナール	科目コード	1151	単位数	2
担当者名	複数担当教員	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BSe101	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

幅広い教養とコミュニケーション能力を涵養し、国際社会に寄与する人間となる上で必須の学修技術や適切な現状認識能力を身に付け、将来の目標設定（キャリアプラン）を行うことを目的としている。さらに、ゼミナール形式の少人数の授業を通し学生同士や学生と教員との豊かな人間関係を構築し、学生生活への適応をスムーズにして、これからの学修の基盤を作ってもらうことを目的とする。

到達目標

・適切な現状認識と目標の設定を行い、個人の生き方と社会を幅広い視野から俯瞰できるようになる。
・生涯学び続けるための学修技術（文章作成や口頭発表の仕方、批判的思考法、時間管理等）を習得する。
・演習やグループワーク、発表を通じて、公的な場にふさわしい文章の執筆や発言ができるようになる。

授業内容

1週目 【C①】動機づけ理論から考える目的と目標
2週目 【C②】クリティカルシンキングの基礎
3週目 【C③】社会から求められる能力
4週目 【C④】大学生としてのキャリアプラン①（プランの構築）
5週目 【C⑤】大学生としてのキャリアプラン②（まとめ）
6週目 【W①】読み書きのスキル基礎（初回レポート作成、読み書きの細則）
7週目 【W②】リーディングレッスン①（内容・要点把握、パラグラフごとの読解レッスン）
8週目 【W③】ライティングレッスン①（要約作成、パラグラフライティング）
9週目 【W④】リーディングレッスン②（クリティカルレビュー、賛否対立のテキストの批判的読解）
10週目 【W⑤】ライティングレッスン②（レポート作成）
11週目 【P①】文献調査と社会調査－図書館を使いこなす
12週目 【P②】メディアリテラシー
13週目 【P③】プレゼンテーションのテーマを設定する
14週目 【P④】相手に伝わる発表資料を作る
15週目 【P⑤】プレゼンテーションに挑戦する
16週目 全体フィードバック

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

Google classroomを通じた各担当者の指示に従い、予習・復習をすること。
【予習】各担当者から提示された指示や課題に従い、次週の授業へ向けた準備をおこなうこと（90分）
【復習】紹介した事柄を理解すると共に、次の授業までに資料をノートにまとめ、分からないこと、疑問に思ったこと、学んだことに対する自分の考えを整理するようにしておくこと（60分）。

成績評価の方法・基準

・すべての課題を提出した履修者のみを評価の対象とする。
・大学生のキャリアプラン【C】33%、リーディング＆ライティング【W】34%、プレゼンテーション【P】33%。
・【CWP】各分野の提出物や発表に基づき、その都度点数化していく。

履修上の留意点

・全回出席を原則とし、欠席の場合は事前に担当教員に相談し、承諾を得ること。
・オムニバス形式のため【C】【W】【P】の順序はクラスにより異なる。
・授業に関するお知らせなどはGoogle classroomを用いるため、教員の指示に従い、登録をおこなうこと。
・小テストなどを授業内でオンライン（forms・Respon）で行う場合があるので、各自スマホ、タブレットなど通信機器を持参し、通信できる環境を確保すること（ただし、授業中スマホなどを使わない場合はしまっておくこと）。

課題に対するフィードバックの方法

・提出された課題やレポートに対して、その都度コメントを付けてフィードバックを行う。
・小テストの結果はResponを用いる等、その場でフィードバックし、補足説明等を行う。

テキスト

・『社会文化ゼミナール・テキスト』（PDF版）

参考書

・石井一成『大学生のためのレポート・論文の書き方』（ナツメ社、2011年）
・岩上真珠・大槻奈巳 (編)『大学生のためのキャリアデザイン入門』（有斐閣、2014年）

更新日付

2026/01/26 12:31